

育成センターだより

編集・発行 千曲市少年育成センター
事務局：千曲市教育委員会 生涯学習課内
お問い合わせ：TEL 273-1111 内線 4113

【児童・生徒の教育相談】

- * 相談日・時間
土・日曜日及び祝日を除く毎日
AM9:00～PM5:00
- * 場 所
市総合教育センター内（埴生中学校敷地）
教育相談センター
電話相談・面接相談 273-5105（直通）
(秘密厳守)

【青少年の生活相談】

- * 相談日・時間
原則として月・水・金曜日とします
AM9:00～PM4:00（要・予約）
- * 場 所
千曲市役所 新庁舎 4階
少年育成センター（生涯学習課内）
電話相談・面接相談 273-1111（内線 4113）
(秘密厳守)

今月の家庭の日 2月16日（日）

第3日曜日は「家庭の日」です。

残された三学期の日々が充実したものとなるように学習への取り組みを励まし、また、規則正しい生活ができるよう、家族全員で応援しましょう。

メールでも相談をお受けします

（24時間受付）

E-mail: youth@city.chikuma.lg.jp

相談員がメールでお答えします。
(秘密厳守)

「二年間を振り返って」

治田地区少年補導委員

二年間にわたる補導委員活動を振り返ると、始めのうちは何が何だかわからないまま、言われるままに、学校や公園、駅等を見てまわっておりまして。

「これでいいの？」と不安でしたが、一年近くになってくると、子供達や公園の様子、駅の様子等、少しずつ見えなかつた物が見えてくるようになりました。

今頃の子供達は、外で遊ばないのかと思っていたのですが、元気に公園で遊んでいたりと、挨拶をきちんとする子供達が多いのも驚きでした。

そういえば、毎朝西中の生徒さんも登校する時、八割ぐらいの生徒が挨拶していきます。本当に気持ちがいいです。

また、公園や駅のトイレがキレイなのも意外でした。昔はキタナイと言えば駅のトイレだったように思います。昔はキタ

また公園の花壇がキレイに手入れされていて、気持ちの良い場所になっているのも驚きでした。手入れしてくれるボランティアの人がいるとの事で感謝です。

反対に、不審者の情報が多いのも驚きです。子供達を守るのは、学校関係者だけでなく、地域の眼も大切だと思いました。

先日の見まわりの時、屋代高校前駅に行った時、駅長さんが、多目的トイレを外からカギをかけて入れなくするイタズラをする生徒がいて困ると話され、本当にそんな生徒がいるとは残念でなりません。

皆が気持ち良く、安全で安心な環境にするのは、多くの人達の眼と努力が必要なんだと思いました。この二年間が少し役に立ったならうれしいです。

子供達がのびのびと心豊かに成長してくれるのを望みながら……。

第3日曜日は家族ふれあう「家庭の日」 増やそう会話、つくろう思い出！

— おさなごが親から受け継ぐ良きマナー —

～ 1月の定例補導委員会議より～

1月8日に、定例補導委員会が開催され、以下の事項等について協議・連絡を行いました。

1. 千曲警察署生活安全課より

市内で12月に2件の声かけ事案があった。声かけ事案は小学生が帰る時間（15～17時）が多く、路上での声かけが多い。今後とも青パトの巡回でご協力をお願いしたい。

2. 青少年補導センター活動状況(7～9月)：全県で延べ2932名(千曲市157名)が補導活動に参加。 声かけ事案の認知状況(1～11月)：全県432件 千曲市は14件

3. 10・11・12月の補導活動を振り返って：環境チェック活動・大頭祭特別巡回・通常補導巡回の実施。 不審者情報については、「ライポくん安心メール」で連絡があった点について補導員さんにできるだけ情報提供をし、重点的に巡視をしていただく。1月～3月までの各小学校帰宅時刻。

4. 1～3月の補導計画について

○ 通常補導 1月1回、2月2回、3月1回 巡回時間：午後3時～5時 青パトによる巡回

○ 長期休業中（年度末）の補導委員と学校職員・PTA役員との合同補導

3月18日～30日（土・日・祝日を除く）巡回時間：午後3時～5時 青パトによる巡回

5. 一年間の補導活動を振り返って：アンケートを実施し、次年度に生かす。

6. 第16回人権を守る市民集会への協力 1月18日（土）上山田文化会館にて実施



補導日誌から



見守りも大変だ！

12月 3日（火） 3:00pm～5:00

小船山公園では8人程の小学1年生が元気に公園内を走り回っていました。そこから少し下がった脇に佇んでいる一人の男性がいましたのでお話を伺うと、いつもは児童館で過ごしているお孫さんが、今日は友達と一緒に公園で遊びたいと言うので見守りに来ているとの事。他の日には別のお母さんが見守ってくださっているとお話くださいました。とても寒い日でした。走り回っている子供達はいいいけれど、じっと立って見守ってくださっている姿に頭が下がりました。

子どもは風の子？

12月 4日（火） 2:45pm～4:30

更埴中央公園には風が強く寒い中、多くの子が遊んでいました。滑り台の傍らには、半袖で遊んでいる元気な子がいました。他の二人の子と遊んでいて、寒さは気にならないようでした。グラウンドでは、6人の男の子が、サッカーの練習をしていました。周りにはマーカーが置いてあり、技術練習を指導している子がいました。その子も、プロに教わったとのこと。サッカーに夢中になっているようです。また、男の子3人で野球をやっている子もいました。網のジャングルジムでは、二人の女の子が遊んでいました。その傍らでは、中学生二人がベンチを飛び越えたり、バク転したり、飛び回ってしまいました。芝の上なので、安心です。

伝統行事を大切に(大頭祭二番頭)

12月11日（水） 3:00pm～5:00

去年に比べ陽気も暖かで人の集まりも早く、巡回を始めた頃は多くの人が集まり、斉の森神社から武水別神社までの練り祭りも始まっていました。行列と一緒に歩きながら神社に向います。家族で参

加されている人も多く、地域に根ざした伝統行事であることが伺えます。子供達も多く参加しており、このような行事を通じて地域の文化、歴史を多く学んでほしいと思います。神社境内では、とても多くの露店・人が出ていましたが、特に問題になるようなことはありませんでした。奥の本殿前では神事が行われ、雅楽の演奏、神楽の舞、よさこい千曲の踊りを見、昔懐かしいチンドン屋の口上を聞き、最後に宝船から撒かれた御供をいただき、神社を後にしました。

故郷を大切に作る心(大頭祭三番頭)

12月12日(木) 3:00pm~5:00

八幡神社大頭祭3日目はおだやかな陽気が一転、寒風の吹く寒い日になりました。小中学生もたくさん来ていて、境内の露店では数名の小学生が射的やくじをやっていました。宝船からの御供まきが始まると我先に群がり、たくさん拾えた人も、拾えなかった人もみんな楽しそうでした。地域に伝わる伝統行事を通して、「子供達が故郷を大切に作る心を持ってくれたらいいな」と思いました。

最近の大頭祭は・・・(大頭祭四番頭)

12月13日(金) 3:00pm~5:00

今は「御供」をまく場所等が決められているそうです。お年寄りの方とか拾えない方には係の人が手渡しで配っていた地区もありました。最近では露店の店も少ない様です。子供達も少なくなった様に思いました。少しさみしさも感じた大頭祭でした。

小船山公園で不審者情報があったので巡回しました。小学生5人、中学生5人が遊具で遊んだり、サッカーを元気にしていました。今回の事案はみんな知っていました。「気を付けて帰ってネ」と声をかけると、「はい、わかりました」と元気に答えてくれました。

静かで平和なひととき(ばば友?)

12月19日(木) 3:00pm~5:00

ふれあい公園では2組のおばあちゃんとお孫さんたちが話をしたり、遊んだり、ママ友ならぬ“ばば友”と言っていいのでしょうか?元氣なおばあちゃんと楽しい雰囲気が伝わってきました。

しっかり巡視しました!!

12月20日(金) 3:00pm~4:30

ライポくん安心メール「19日午後4時30分頃大西線上において車の後部席男から、女子中学生がわいせつな言葉をかけられる事案がありました」との報告により、中学校周辺を念入りに巡回しました。

編集室の窓

「ふるさとを大切に作る心」



12月の補導日誌の中に「伝統行事を通じて、子供達が故郷を大切に作る心を持ってくれたらいいな」という文章が書かれてありました。

千曲市の各地にはいろいろな伝統的な行事や建物等があります。八幡の武水別神社の『大頭祭』は400数十年前から引き継がれている伝統行事で、国の選択無形民俗文化財に指定されています。また、雨宮の御神事踊りは、雨宮地区の人々によって約400年にわたって引き継がれた民俗芸能と言われていています。この他、稲荷山の祇園祭、戸倉上山田の温泉夏祭りや河川敷での納涼煙火大会、下戸倉の水上市奈山神社の御柱、矢代宿須々岐水神社の神輿など昔から大切にされてきたお祭りがあります。また、建物などでは、稲荷山の伝統的建造物群、平安時代から知られている『更級の名月』や姨捨の棚田、室町時代再建の智識寺大御堂は他の地域の方もよく知っている名所です。このように千曲市の各地には伝統行事や建物などがあります。このような伝統的なものを通じて、子どもたちの「ふるさとを大切に作る心」が育ってくれたらと願うばかりです。

子ども達が、粘り強く意欲的に取り組んでいくためには、夢や目標をもち、その達成に向けて取り組むことが何よりも大切です。今の子ども達には夢がない、と言われていました。そんな子ども達が、どんな夢をもち、どのように立ち向かっていこうとしているかを紹介します。

「わたしのゆめ」

も木 こはる

わたしのゆめは、ピアニストになることです。

ピアニストになれるように、こんなふうにしていきたいことを5つはなしたいとおもいます。一つめは、ピアノを毎日れんしゅうしていききたいです。二つめは、コンクールにでて、ゆうしょうしてピアニストをめざします。三つめは、ゆびの形がよくなるようになおしていききたいです。四つめは、メゾフォルテやメゾピアノなどやりんじきごうに気をつけてがんばりたいです。五つめは、音の長さに気をつけるようにしていききたいです。16ぶ音ふや3れんぷや、8ぶ音ふや4ぶ音ふを気をつけたいです。そして、わたしは、ピアニストになったら、とってもすてきな音色をかなでて、みんなをうっとりさせたいです。

「おおきくなったら なりたい ゆめ」

ふ川 ゆいな

わたしは、大きくなったら、じょさんしさんになりたいです。なぜかという、赤ちゃんがとてもかわいいからです。あとは、おばあちゃんのおしごとを見ていたら、赤ちゃんがすきなわたしに、にあうと思ったからです。

もし、じょさんしさんになったら、赤ちゃんを大じにしたり、赤ちゃんのやくに立ったりしたいです。赤ちゃんのだっこのしかたや、ねかし方も知りたいです。人はみんな、さいしょは赤ちゃんでした。赤ちゃんを大じにまもって、元気にくらせるようにしたいです。これが、わたしの大きくなったらなりたいゆめです。

「わたしのゆめ」

かき本 りいさ

わたしは、しょうらいお医者さんになりたいです。なぜかと言うと、小さいころ病気にかかり、お医者さんになおしてもらいました。その時、わたしは「お医者さんってカッコいいなあ。わたしも、しょうらいお医者さんになりたいなあ。」と思ったからです。その時からずっと、その気持ちがつづいています。できれば、子どもの病気をなおすお医者さんになりたいです。あの時、わたしの病気をなおしてくれたように、今度は私が病気にかかっている子どもたちをやさしくなおしてあげたいです。

「しょうらいのゆめ」

若林 りゅうせい

ぼくのしょう来のゆめは二つあります。

一つ目はけん道をやることです。ぼくのお母さんは、子どもころけん道をやっていたので、ぼくもやりたいと思いました。

二つ目は、いい会社につとめることです。その会社でいっしょうけんめいにはたらい、いい社員になるために、もっと勉強をしたいと思います。

早く大人になって、会社員になって、おきゅうりょうもらったら、自分の楽しみをみつけたいと思います。